

岡本 伸一郎(ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部器楽科を経てジュネーヴ音楽院よりソリスト・ディプロマ及び、オーケストラ・ディプロマを取得。スイスやフランスを中心に活動を続ける。2009年に帰国しオーケストラでの客演首席をはじめ、室内楽奏者やソリストとして幅広く活動。2014年、2018年には大阪でソロ・リサイタルを開き、好評を博す。2016年より大阪交響楽団アソシエイト・コンサートマスター。海外での音楽祭等への出演も多く、グラーツ、ケルン、台東などに招かれている。ジュネーヴでは2008年に国連の式典でも演奏し、その様子は現地や日本の新聞等でも報道された。第12回宝塚ベガ音楽コンクール入賞、並びにすみれ賞受賞。



早田 類 (ヴィオラ)

東京藝術大学音楽学部卒業後、ヴィオラに転向。同大学同大学院音楽研究科在学中に渡欧。大学院在学中、PMF(Pacific Music Festival)のメンバーに選抜される。

パリ地方国立高等音楽院第三課程終了後、ローザヌス高等音楽院にてソリストディプロム取得。在学中、Max Jost財団より奨学金を授与される。

ヴィオラをBruno PASQUIER、室内楽をPierre AMOYAL、Chantal Mathieu-Balavoine、ピアノとの室内楽をMarc PANTILLONIに師事。2004年から10年間、スペイン・マドリッド王立歌劇場(レアル劇場)管弦楽団にて副首席奏者を務める。2016年より、大阪交響楽団首席ヴィオラ奏者。



増山 頌子(チェロ)

桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部を経て、同研究生3年次修了。第7回泉の森ジュニアチェロコンクール金賞。第55回鎌倉学生音楽コンクール教育委員会賞並びに野村光一賞。第12回日本演奏家コンクール第3位。第11回大阪国際音楽コンクール・コンチェルトオーディションEspoir賞。第67回全日本学生音楽コンクール東京大会大学の部入選。2014IMA音楽賞。第1回さくらプラザ弦楽オーディション優秀賞(最優秀賞なし)。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2015特別賞ほか。チェロを5歳より始め現在まで毛利伯郎氏に師事。室内楽を原田幸一郎、東京クワルテット各氏の指導を受ける。サントリーホール室内楽アカデミー第3期修了。



大槻 健太郎(コントラバス)

武蔵野音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科修了後ウィーン国立音楽大学に留学。

第17回練馬文化センター新人演奏会オーディション弦楽器部門優秀賞受賞、同人賞者演奏会にて東京ニューシティ管弦楽団とコントラバス協奏曲を共演。武蔵野音楽大学卒業演奏会及び新人演奏会に出演。皇居桃華楽堂にて御前演奏会に出演。

第5回日本演奏家コンクールにてグランプリ(河野賞)受賞、及び弦楽器部門第1位受賞。第9回コンセルマロニエ21にて弦楽器部門第2位受賞。倉敷音楽祭、リゾナーレ音楽祭に出演。

2014年 新日本フィルハーモニー交響楽団 契約団員を務める。2015年 大阪交響楽団 首席コントラバス奏者に就任。コントラバスを廣嶋嘉人、星秀樹、Alois Poschの各氏に師事。



河内 仁志(ピアノ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業。京都市立芸術大学音楽学部卒業。Ecole Normale musique de Parisにて研鑽を積む。

第8回兵庫県学生ピアノコンクール県大会D部門(中学生の部)最優秀賞、兵庫県知事賞受賞。第55回全日本学生音楽コンクール大阪大会ピアノ部門高校の部第1位、全国大会出場。第75回日本音楽コンクールピアノ部門第1位。併せて野村賞、井口賞、河合賞受賞。

第12回モノポリ国際ピアノコンクール(イタリア)第3位、聴衆賞受賞。大阪NHKホールにてN響メンバーと「新進演奏家の出会い“クラシック大好き!”」に出演。他にも東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、NHK交響楽団、四芸祭オーケストラ、京都市交響楽団、Orchestra Sinfonica della Provincia di Bari、飯森範親、北原幸夫、松尾葉子、増井信貴、佐藤俊太郎、Giuseppe La Malfa、井村誠貴各氏と共演。東京、兵庫、大阪、京都の各地でリサイタルを行う。2008年社会福祉法人神戸社会福祉協議会より感謝状を授与される。

これまでに坂井千春、田隅靖子、坂本恵子、徳末悦子の各氏に師事。

神戸市混声合唱団専属ピアニスト、兵庫県立西宮高等学校音楽科、京都市立芸術大学非常勤講師。



寺岡 清高(ナヴィゲーター)

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学指揮科に学ぶ。97年、イタリア・シエナのキジャーナ音楽院よりフランコ・フェラーラ大賞を授与され、1年間ロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等で研鑽を重ねる。2000年、ミトロポロス国際指揮者コンクール優勝。これまでに数多くの国内オーケストラとともに、フェニーチェ歌劇場管、サンクト・ペテルブルグ・フィル、ウィーン室内管、イギリス室内管を始め、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演している。大阪交響楽団とは、2004年1月の正指揮者就任以来緊密な関係を続けており、2011年4月から2019年3月まで、同楽団常任指揮者を務める。ウィーン在住。

